



エントランス・コンサート



♪ 日 時 平成30年7月13日 (金)

12時～12時30分

♪ 場 所 図書館2階メディア・アート・ホール

♪ 演奏者 和歌山大学教育学部音楽専攻学生

和歌山大学教育学部と和歌山県立図書館による連携事業の一環として行う和歌山大学教育学部音楽専攻学生の演奏によるエントランスコンサートをお楽しみください。

演奏者

4回生	奥山 杏菜	(ピアノ)
3回生	芦原 朋花	(フルート)
	小池 舞	(ピアノ)
	三好 里依	(アルトサクソフォン)
1回生	嶋田 倫太	(ピアノ)
	三谷 珠李菜	(ユーフォニアム)

♪演奏曲

G. F. ヘンデル/M. ミュール：ヴァイオリンソナタ Op1-15 HWV373 イ長調 (1730) より
アダージョ、アレグロ

J. S. バッハ：無伴奏フルートのためのパルティータ BWV1013 イ短調 より クーラント

G. エネスコ：カンタービレとプレスト

F. デュクリュック：ソナタ嬰ハ調 より 第1楽章

P. L. チャイコフスキー／内田祥子編曲：組曲《くるみ割り人形》より

〈行進曲〉〈こんぺい糖の踊り〉〈ロシアの踊り (トレパック)〉

本日の演奏者：芦原朋花さん・三好里依さんの
「心に残る本」を裏面でご覧下さい。

☆県立図書館ではエントランス・コンサートの演奏者を募集しています。

詳しくは文化情報センターまでお問い合わせ下さい。(電話：073-436-9530)





本日の演奏者：芦原朋花さんの「心にのこる本」



「君の臍臓をたべたい」

住野よる 著

この本のタイトルを初めて見るとき、誰しもが二度見をしてしまうのではないのでしょうか。私もタイトルに興味を持ってこの本を手に取りました。とても根暗な主人公「僕」と、主人公とは正反対の性格で、臍臓の病気で余命宣告を受けている女の子がお互いに惹かれ合い、成長していく物語です。友情でも愛情でもない、2人の関係を表わす「君の臍臓をたべたい」という言葉は、何度も読み返すことで違った印象を与えてくれます。

本を読み終え、「君の臍臓をたべたい」という言葉の本当の意味がわかるとき、この本の本当の魅力に気づくことができるのではないかと思います。



本日の演奏者：三好里依さんの「心にのこる本」



「風が強く吹いている」

三浦しをん 著

私は中学生のころまであまり読書は好きではありませんでしたが、友人の勧めで読んだこの本は読書を好きになるきっかけの一つとなりました。「風が強く吹いている」は、10人中陸上経験者はたったの3人というほぼ素人集団で箱根駅伝を目指すという絶対不可能と思われる挑戦をする物語です。個性豊かな10人のメンバーの様々な思いや葛藤、周囲との関係など様々な困難が立ちはだかる中、1つの目標に向かって突き進んでいきます。

この本を読んで、絶対無理と思われる目標でも諦めずに努力し続けることの大切さ、何事も周囲の人に支えられているということ、そして仲間の大切さを感じることができました。

